

一般財団法人エンジニアリング協会 地下開発利用研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL 03-5405-7203(直通)/FAX03-5405-8201

ホームページアドレス ; <http://www.ena.or.jp/GEC/>

E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 335 号 / 2017.8

Index

- 大下 元 理事長就任についてのお知らせ
- 平成 29 年度「エンジニアリング功労者賞・奨励特別賞」表彰式 開催報告
- ENAA 研究成果発表会 2017 開催報告
- 第 2 回地熱発電・熱水活用研究会 開催報告
- 岩手県地熱発電理解促進事業第 1 回勉強会における講演報告
- 会員の皆様へのお知らせ
- 着任のご挨拶

■大下元理事長就任についてのお知らせ■

当協会の理事長は、6 月 30 日付けにて、佐藤 雅之氏（日揮(株)代表取締役会長）から、大下 元氏（JFE エンジニアリング(株)代表取締役社長）に交替しました。

今後は新たに大下 元理事長のもとで力を合わせ、



大下元理事長

エンジニアリング業界の更なる発展に努力してまいりたいと存じますので、会員各位をはじめ関係の皆様方の一層のご支援ご協力をお願いいたします。大下 元 理事長就任の挨拶は、当協会 H.P. に掲載しております。

なお、これまで 2 年間にわたり協会運営に多大なご指導ご尽力をいただきました、佐藤 雅之 前理事長には、当協会理事として引き続きご指導いただきます。

■平成 29 年度「エンジニアリング功労者賞・奨励特別賞」表彰式開催報告■

平成 29 年度「第 37 回エンジニアリング功労者賞」および、「第 9 回エンジニアリング奨励特別賞」の表彰式が平成 29 年 7 月 18 日（火）17 時から第一ホテル東京において執り行われました。

受賞者は、多数の案件の中から、小島圭二氏（東京大学名誉教授）を委員長とする選考委員会の厳正なる審議の結果、「エンジニアリング功労者賞」はエンジニアリング産業に関与し、その活動を通じてエンジニアリング産業の発展に著しく貢献したグループ表彰 10 件および個人表彰 1 名が決定され、「エンジニアリング奨励特別賞」は、今後商業化が期待されるプロジェクトを対象とし、先駆的

技術の開発に顕著な功績のあった 2 グループおよびインフラシステム輸出に顕著な功績のあった 1 グループの表彰が決定されました。

大下理事長の式辞に続き、「エンジニアリング功労者賞」のグループ表彰 10 件【海外におけるエンジニアリング活動を通じての「国際貢献」5 件、エンジニアリング産業における技術力の向上や新分野の開拓等の「エンジニアリング振興」1 件、エンジニアリング産業の諸活動を通じ環境問題の改善に大きく貢献された「環境貢献」1 件、新規性を有し、きらりと光る案件や技術を対象とする「中小規模プロジェクト枠」3 件】、および個人表

彰1件【国際貢献1件】、「エンジニアリング奨励特別賞」グループ表彰3件に対して、大下理事長より表彰状および副賞(記念品)が渡されました。

来賓の経済産業省製造産業局国際プラント・インフラシステム・水ビジネス推進室長の玉井優子様による祝辞と受賞者代表としてグループ表彰を受けられた「インドネシア国ジャカルタ市タンジュンプリオクアクセス道路(E2A)建設プロジェクトチーム」山口貴志氏((株)大林組)の謝辞があり、表彰式は厳粛に執り行われ、出席者一同より、心からお祝いの拍手をもって終了しました。



「エンジニアリング功労者賞・奨励特別賞」表彰式

表彰式終了後、協会懇親パーティが開催されました。

この度理事長交替がありましたので、佐藤前理事長の退任挨拶、大下理事長の就任挨拶が行われ、経済産業省製造産業局長の多田明弘様の来賓挨拶、小島エンジニアリング功労者等選考委員長の乾杯の音頭で始まったパーティは功労者表彰を受けられた方々を中心に賑やかかつ和やかな夕べとなりました。



受賞者代表 山口 貴志 氏による謝辞



佐藤 前理事長、大下 理事長、前野専務理事および小島エンジニアリング功労者等選考委員長と「エンジニアリング功労者賞・奨励特別賞」受賞者一同

■ENAA 研究成果発表会 2017 開催報告■

ENAA 研究成果発表会 2017 は、7月11日(火)～12日(水)の2日間にわたり当協会会議室にて開催され、地下開発利用研究センターの研究成果発表は、7月12日(水)の午後に行われました。

奥村所長の挨拶の後、百田 博宣前技術開発部長による「平成28年度活動報告と今後の展開」、川

上 進氏(株)IHI)による「放射性廃棄物研究会」、松澤強主任研究員(GEC)による「小規模地熱発電・熱水活用研究会」、今井 博氏(サンコーコンサルタント(株))、引間 亮一氏(西松建設(株))による「計測技術研究会」、青木 貴均氏(株)安藤・間)による「水素輸送・貯蔵研究会」、平松 晋一氏(応

用地質(株) による「エネルギー関連施設に関する活断層の工学的研究会」、百田 博宣前技術開発部長による(公財)JKA 補助事業「離島における地熱資源の活用可能性調査」、地下利用推進部会(発表者 第1部会:西村 毅氏(株)安藤・間)、第2部会:中山 洋氏(佐藤工業(株))、第3部会:平野 孝行氏(西松建設(株))、第4部会:居相 好信氏(株)大林組))による(公財)JKA 補助事業「安全・安心・快適な国土形成に資する地下空間利用の調査」、以上8セッションの発表が行われました。

地下開発利用研究センターの各セッションとも多数の皆様にご参加いただき、それぞれの研究成果について、活発な質疑応答もなされ、熱気に溢れる発表会となりました。

各セッションで説明いただきました講師の方々、そして熱心に聴講いただきました皆様に、厚く御

礼申し上げます。

次年度も、より一層の研鑽を積んで充実した研究成果発表会を開催できるように努力してまいりますので、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。



発表会の様子

■第2回地熱発電・熱水活用研究会 開催報告■

平成29年7月19日(水)に、平成29年度の第2回目となる地熱発電・熱水活用研究会を開催しました。当研究会の海江田秀志委員長((一財)電力中央研究所)よりご挨拶をいただいた後、山邊嘉朗氏(ジオテック(株) 代表取締役)にご講演いただきました。



講演状況(山邊 嘉朗氏)

「温泉熱利活用手法の開発と今後の展望」と題し、大分県別府市における温泉地での地熱発電所開発で培った技術的知見、観光等の地域経済活動におけるニーズを組み合わせた総合的、相互補完

的な熱利用の推進、地域産業の根幹を為す事業モデルへの発展を目的とする取り組みについて、ご講演いただきました。

今後の展望では、地域の電源ステーション構想として、小型発電所を利用し、非常時でも稼働出来る可能性を確保することにより、災害に強い街作りの面で特に地域性を活かしたモデルとする別府ならではの災害対策の構想のお話がありました。温泉発電が世界に誇れるものとなることを切に願う講師の熱い思いが伝わる内容でした。



講演風景

また、講演会には100名を超える委員およびオブザーバーの方々にご出席いただきました。

講演会終了後の情報交換会も、講師を中心とし

た相互の交流の場となり、大盛況な研究会となりました。

■岩手県地熱発電理解促進事業第1回勉強会における講演報告■

岩手県環境生活部環境生活企画室主催の「岩手県地熱発電理解促進事業第1回勉強会」が6月16日（金）13：30～15：45に岩手県立県民生活センターで開催されました。経済産業省「地熱発電に対する理解促進事業費補助金」に岩手県が採択され、県内温泉事業者による掘削を伴わない温泉熱の利活用（バイナリー発電や温泉熱利用）の導入を促進することを目的として、勉強会、先進事例視察、相談会等の事業を行う活動の一環の勉強会であります。

この勉強会には、県内温泉事業者、商工会、発電事業者、市町村、岩手県振興局、東北経済産業局、事務局等で31名が出席されました。

冒頭、環境生活企画室温暖化・エネルギー対策課高橋久代課長の挨拶の後、岩手県地熱発電理解促進事業の年間活動の概要説明がありました。その後、JOGMEC 地熱部西川信康部長より、「我が国の地熱開発動向と JOGMEC の活動状況」について

講演がありました。

続いて、ENAA より、「温泉熱・熱水利活用の基礎知識」と題する講演を行いました。本事業の目的が掘削を伴わないバイナリー発電と熱水利活用にあるので、熱水活用に絞った内容で講演しました。

熱水活用事業の事業スキーム、熱水活用の有効性（暖房用燃料の節減等）、全国のバイナリー地熱発電所一覧を説明した後、熱水活用事例として温室栽培、陸上養殖、その他に分けて全国の事例を紹介しました。

温泉事業者等から、バイナリー発電の建設方法、温室栽培等の費用対効果等について熱心な質問があり、対応しました。

今後、岩手県の要請によって、温泉事業者等からの相談に対応する等の支援を継続していく予定であります。

■会員の皆様へのお知らせ■

口着任のご挨拶

塩崎 功（技術開発部 部長）

本年7月1日付で、ENAA に採用され、地下開発利用研究センター（GEC）の技術開発部長を拝命しました塩崎功（しおざき いさお）です。ENAA の前職は(株)安藤・間で、同社を平



成29年6月末に退職し、ENAA に再就職いたしました。(株)安藤・間では、技術研究所あるいは原子力部に所属し、土木関連の研究開発管理、地下水に係わる研究と現場支援、放射性廃棄物処分に係る受託業務を実施しておりました。また、一般

財団法人電力中央研究所にも2回出向し、低レベル放射性廃棄物処分、高レベル放射性廃棄物処分に係る研究や国ならびに電力会社からの受託業務を担当させていただきました。

GEC では、地下開発全般の技術開発やプロジェクト推進など、より幅広い分野の業務をゼネコンとは異なる立場で担当させていただきます。本年8月に62歳になりますが、GEC では新人です。多岐にわたるGECの事業内容を少しでも早く理解し、お役に立てるよう努力する所存ですので、皆様方にはご指導・ご支援のほどをお願い申し上げます。

（平成29年7月1日着任）